

県立高校の在り方に関する 地区別情報交換会

令和7年10月16日・31日

群馬県教育委員会

1. 社会の変化

- ・ 複雑かつ予測困難な課題を抱えた現代

➤ 高校教育の果たす役割は大きい

3. 生徒数の減少

- ・ 継続的な中学校卒業者の減少

➤ 学校の活力維持や特色化が必要

2. 生徒の多様化

- ・ 生徒の学習ニーズ、興味・関心、進路希望等の多様化

➤ 多様な生徒受入の体制づくりが必要

4. 教育のデジタル化

- ・ 社会や生活様式が大きく変容し、デジタル化が加速

➤ デジタルを活用した、個別最適な学びを推進

高校教育改革（県立高校の在り方の検討）が必要

既存の取組

- ◆ スーパーサイエンスハイスクール
- ◆ 非認知能力育成
- ◆ DXハイスクール など

+

在り方検討



すべての子どもに
公平で質の高い教育

01 地区別情報交換会

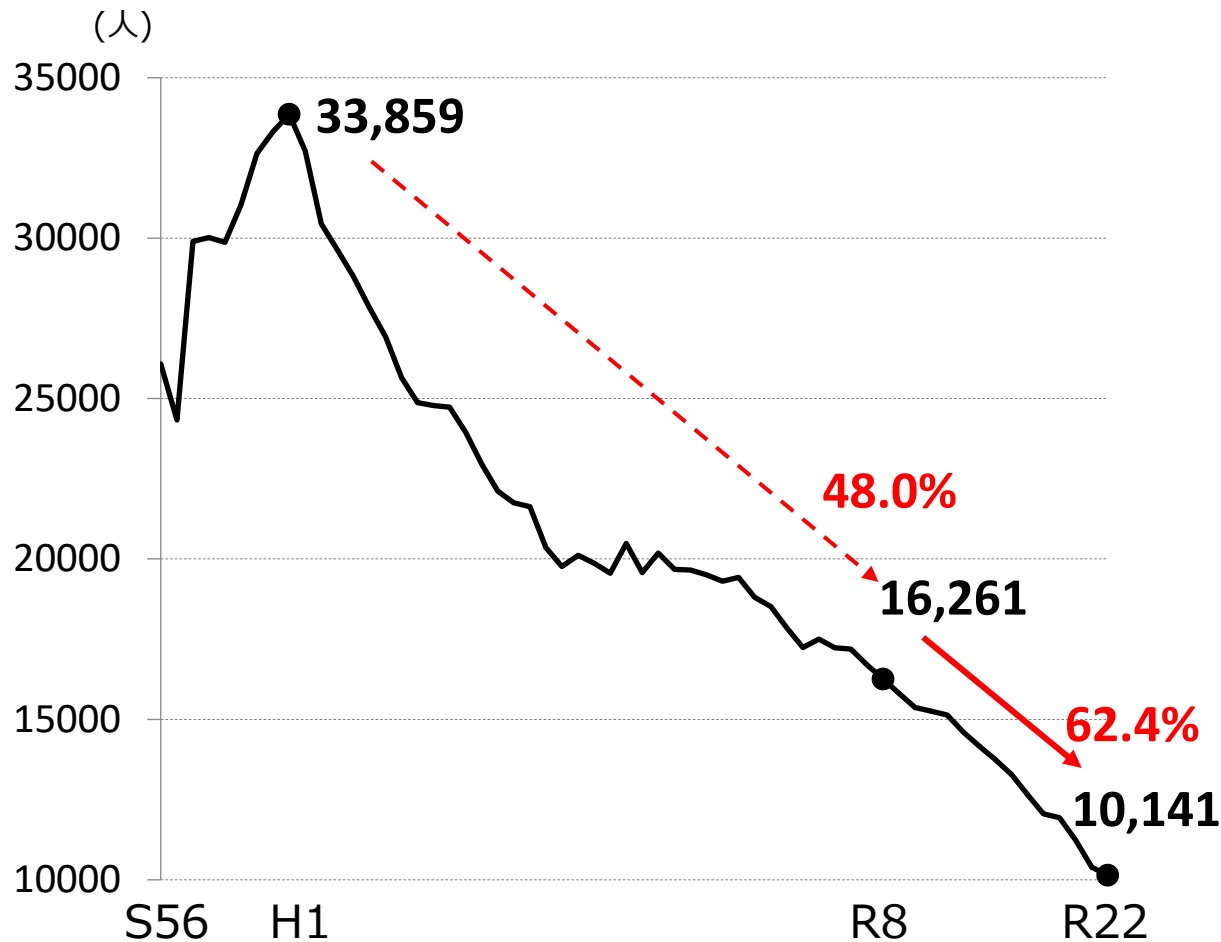
現状・課題等の情報共有



02 地区別検討会

地区ごとにゼロベースで
幅広く在り方を検討

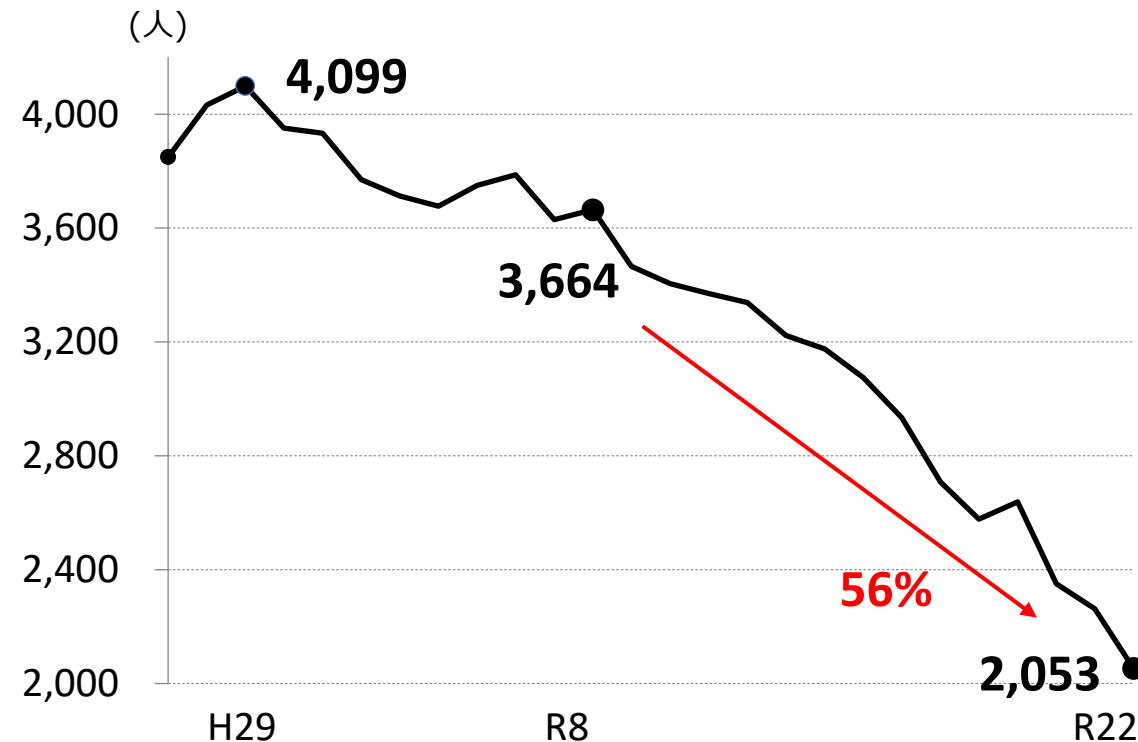
群馬県



・今後、数年間の見込み

R8→R9 : -455 , R9→R10 : -436 , R10→R11 : -114

太田市・館林市・邑楽郡



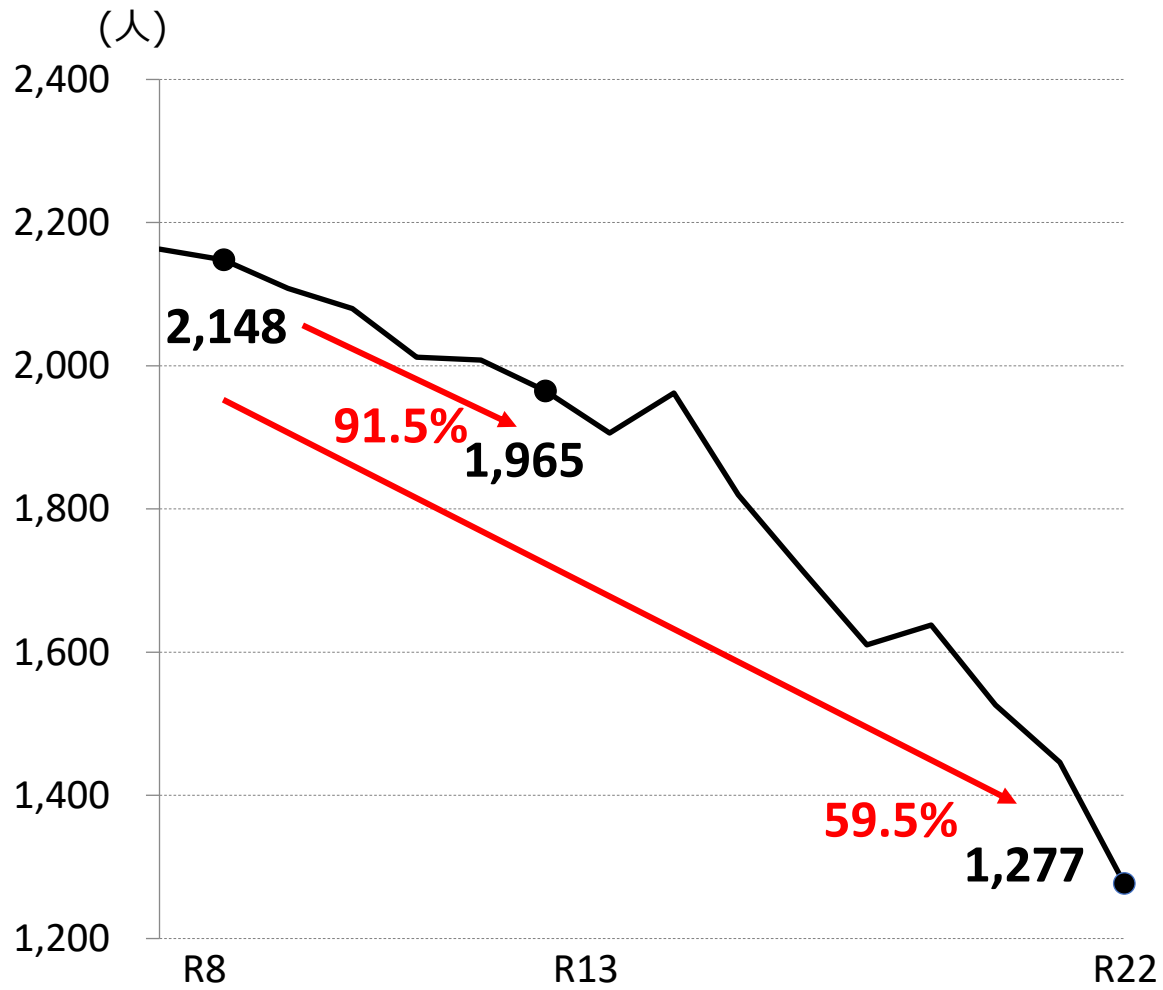
R8と比較して、R22(14年後)は、約1,600人減の見込

現在の高校数を維持

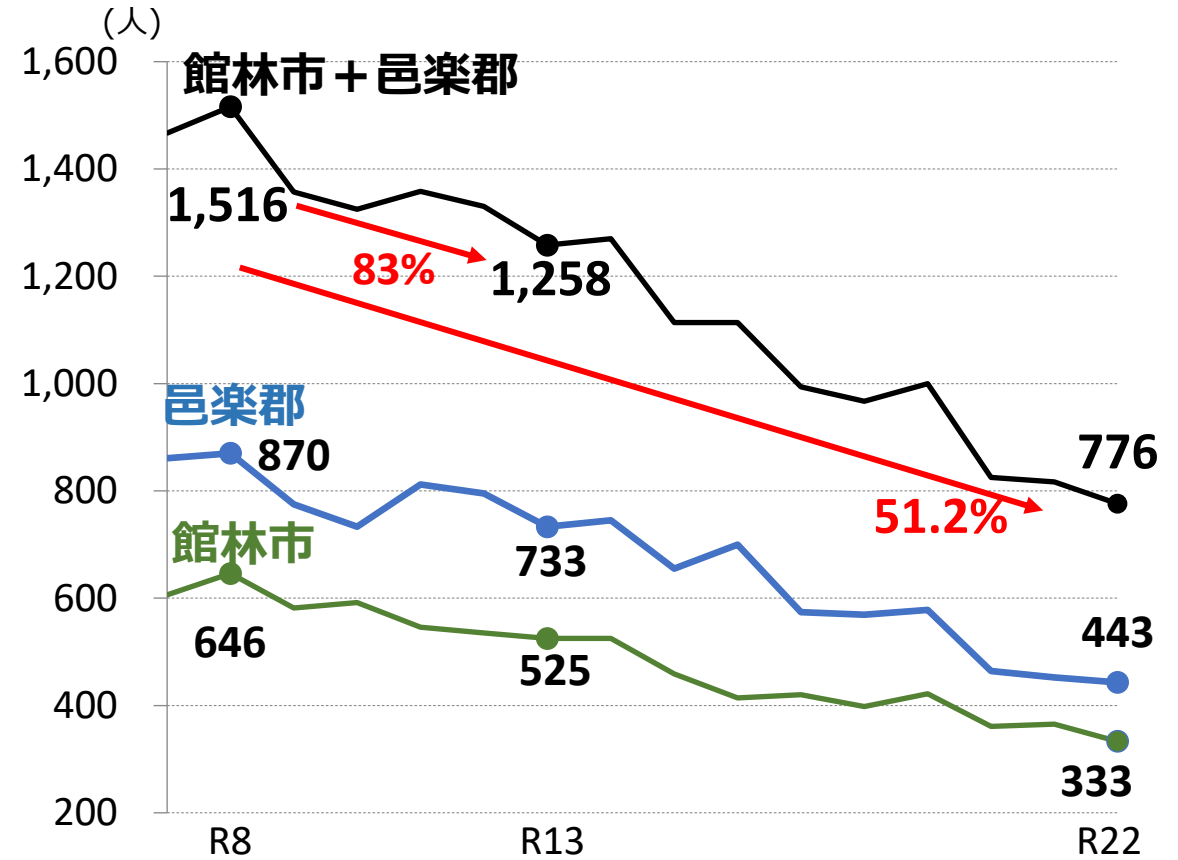


各高校の小規模化が進行

太田市



館林市・邑楽郡



【R8→R13] 258人減 【R8→R22] 740人減

(邑楽郡)

・ R8比 : R13(5年後)は 84.3%、 R22(14年後)は 50.9%

(館林市)

・ R8比 : R13(5年後)は 81.3%、 R22(14年後)は 51.5%

地区内の公立高校のプロフィール

(R7学校要覧等をもとに作成)

課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

	学校名	課程	R7.3 卒業生 数	進路状況(R7.3卒業生)				特徴
				大学	短大	専門 学校等	就職	
太田市	太田	全	271	215	0	0	0	1897年創立の 普通科男子校 。6 0 分 6 限授業。 「文武両道」・「質実剛健」の校風の振興を図り、21世紀の担い手としての、知・徳・体の調和 のとれた人間の育成を目指す。
	太田女子	全	231	214	1	0	0	1921年創立の 普通科女子校 。5 5 分 6 限授業。 「豊かな人間性の育成」「時代を切り開く力の育成」「しなやかな知性」
	太田東	全	235	207	1	19	0	1982年創立の普通科共学校。 進学重視型単位制高校 。 教育目標「人間性豊かで、知的好奇心にとみ、心身を鍛え、主体的に考え行動できる人間を育てる」
	新田暁	全	151	24	2	62	63	1924年創立の共学校。単位制 総合学科 (6 系列)。SAH指定校。 系列：キャリアデザイン、食文化、社会福祉、情報ビジネス、生活文化、機械・電子技術
	太田工業	全	137	21	0	31	83	1961年創立の共学校。 機械・電子機械・電気情報科(産業電気コース・情報コミュニケーションコース) を設置。「地域・社会に貢献できる自立した工業人の育成」を目指す。
	太田フレックス	定	81	6	0	26	36	2004年創立の 定時制課程 Ⅰ(午前)・Ⅱ(午後)・Ⅲ(夜間)部と 通信制課程 を設置している単位制高校。
	〃	通	65	3	0	8	3	R6～「日本語基礎」と「日本語Ⅰ」を開講。日本語指導支援員を配置。
	市立太田	全	268	139	11	65	38	1963年創立の 普通科・商業科 を設置する共学校。 併設型中高一貫校 。 教育目標：確かな知性・豊かな人間性・たくましい心身を培い、高い志をもち、自ら未来を拓く生徒を育成する

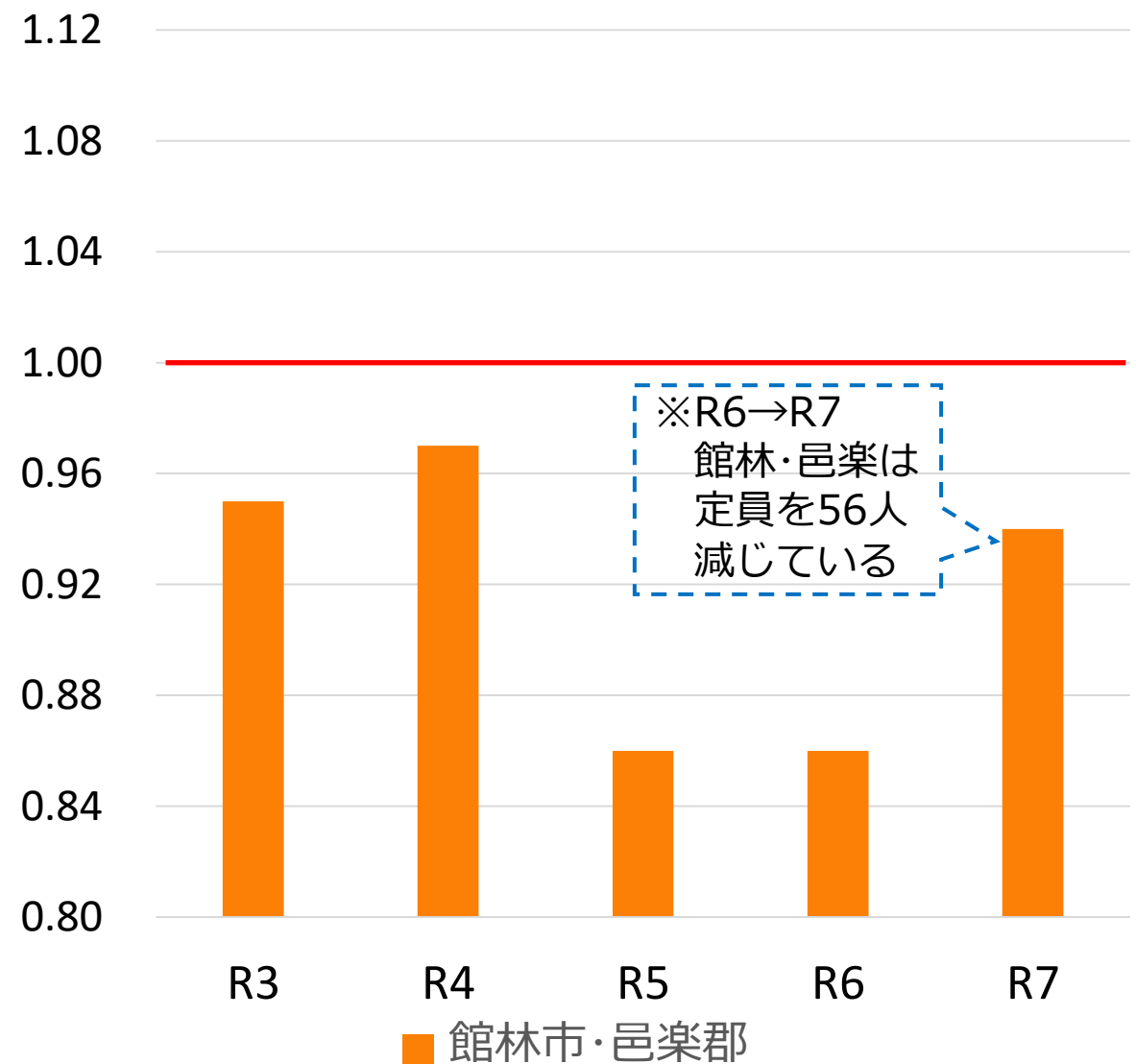
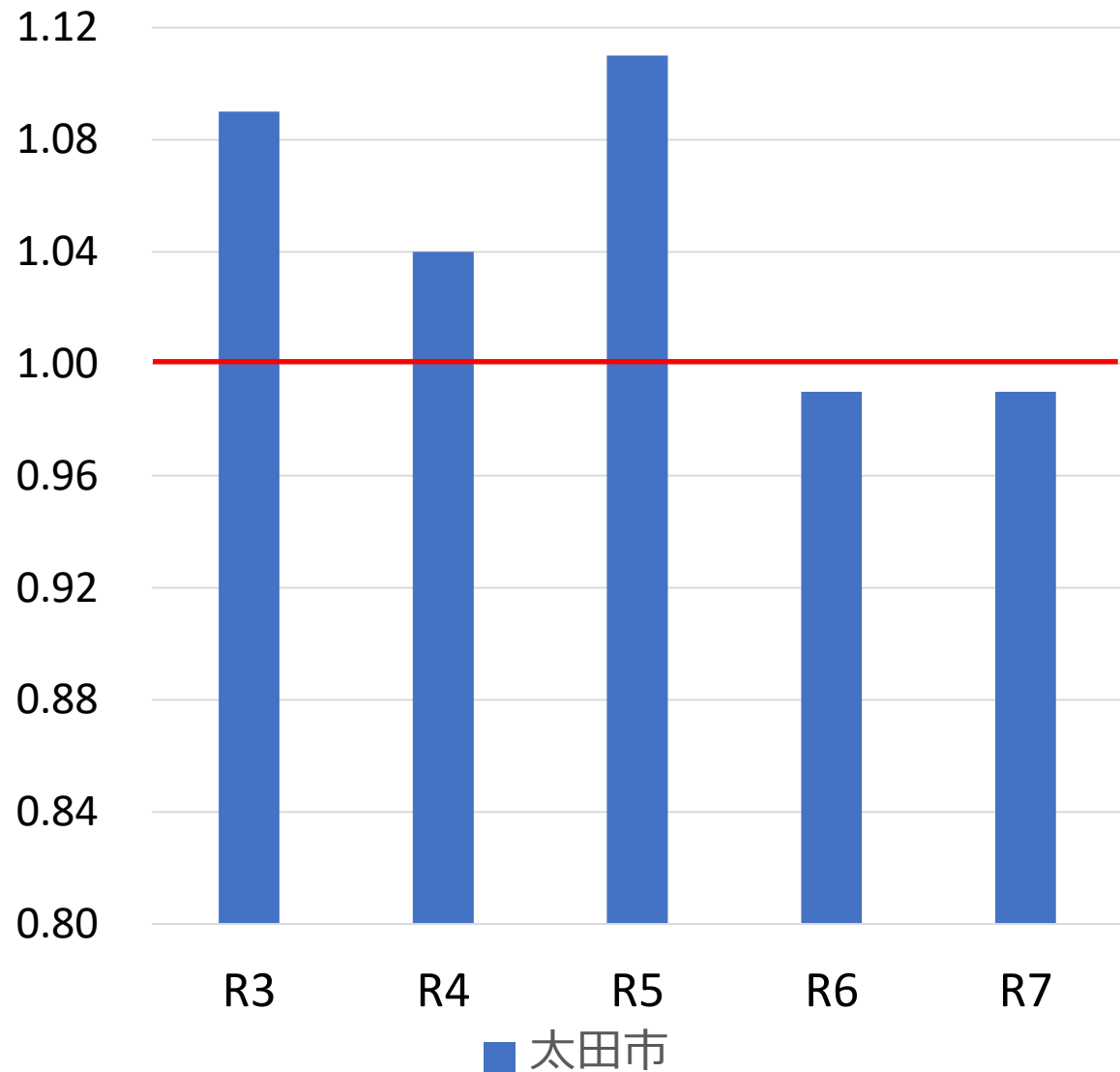
(R7学校要覧等をもとに作成)

課程：全→全日制、定→定時制、通→通信制

	学校名	課程	R7.3 卒業者 数	進路状況(R7.3卒業生)				特徴
				大学	短大	専門 学校等	就職	
館 林 市	館林	全	196	154	0	6	1	1921年創立の 普通科男子校 。 目指す生徒像：確かな学力と幅広い知識・教養を身に付けた生徒、人柄に優れ、 知・徳・体の調和のとれた生徒、自主・自律の精神を持ち、社会に貢献できる生徒
	〃	定	3	0	0	1	2	1948年設置の普通科定時制（共学）。1 学年定員40名。 1コマ45分、1日4コマ授業。
	館林女子	全	194	135	9	46	3	1917年創立の 普通科女子校 。 令和7年度から「ホームルーム革命」を掲げ、32人学級を導入。 校訓：自律自治、温雅健康、敬愛親和
邑 楽 郡	板倉	全	59	5	0	14	35	1951年創立の 普通科共学校 。 「ぐんまチャレンジ・ハイスクール」として、基礎・基本を大切にした、少人数 クラス編成によるきめ細かい授業を展開。
	館林商工	全	152	46	2	58	45	1984年創立の 工業科と商業科を設置 している共学校。R6～コミュニティ・スクール 工業系：生産システム科(機械システムコース・電気システムコース)、建築科 商業系：商業ビジネス科、情報ビジネス科
	西邑楽	全	161	59	16	56	20	1975年創立の 普通科、ｽﾎﾟｰﾂ科、芸術科(音楽・美術)を設置 している共学校。 普通科：大学進学を目的とした教育課程を編成 ｽﾎﾟｰﾂ科・芸術科：授業のおよそ3分の1がそれぞれの専門科目
	大泉	全	146	18	9	62	48	1912年創立の 農業系学科と普通科を設置 している共学校。 農業系学科：生物生産科（園芸コース・ガーデニングコース）、グリーンサイエンス科 （植物科学コース・生物応用コース）、食品科学科

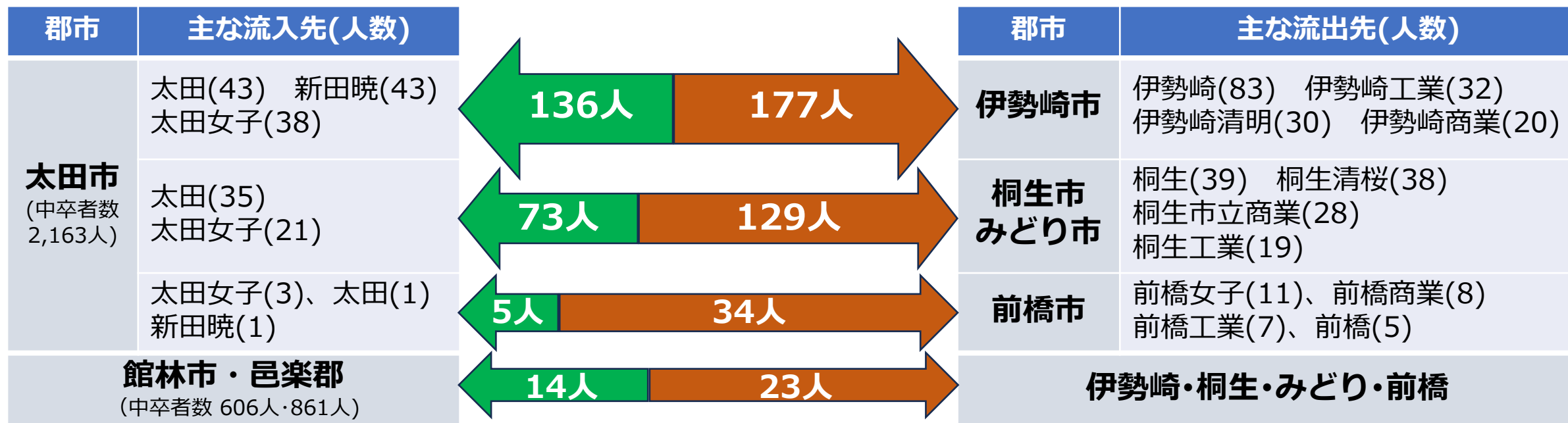
* 入試倍率・・・R3～R5は後期選抜

公立高校(全日制課程)の入試倍率*の推移

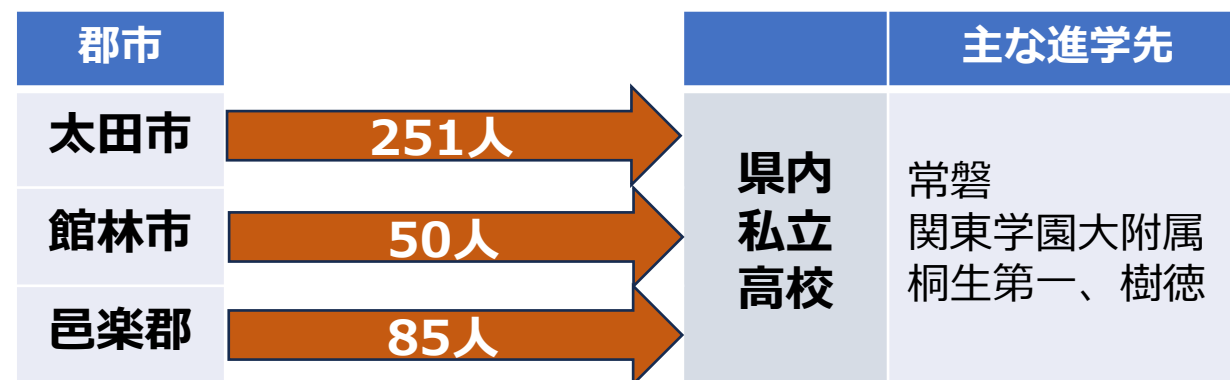


R 7 中学校卒業者の主な動き

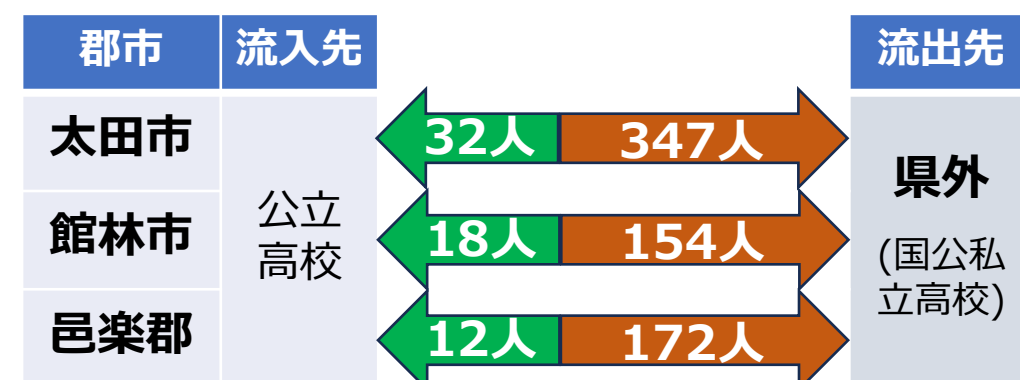
【県内他地区】



【県内私立高校】



【県外】

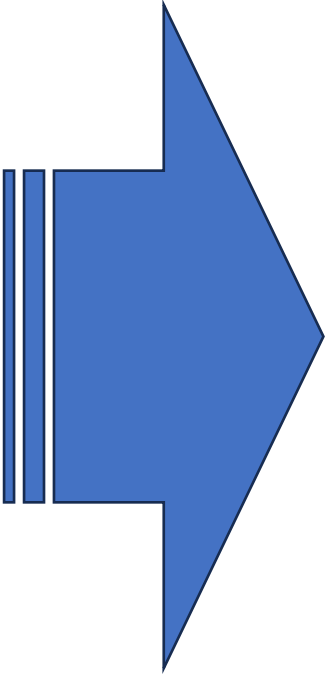


中学校卒業見込者数

卒業年月	令和8年3月	令和13年3月	令和17年3月	令和22年3月
中学校卒業見込者数	3,664	3,223	2,708	2,053
増減(令和8年3月比)	－	-407	-922	-1,577

学級数及び学校数の見込み(全日制・フレックス)

	高等学校名	学科等	令和 8 年	令和13年	令和22年
	学校数		13校	13～11校	13～7校
太田	太田	普通科	6 学級	55学級	42～29学級
	太田女子	普通科	6 //		
	太田東	普通科（単位制）	6 //		
	新田暁	総合学科	4 //		
	太田工業	工業系学科	3 //		
館林	館林	普通科	4 //		
	館林女子	普通科	4 //		
邑楽	板倉	普通科	2 //		
	館林商工	商業系学科/工業系学科	4 //		
	西邑楽	普通科/ｽﾎﾟｰﾂ科/芸術科	5 //		
	大泉	普通科/農業系学科	4 //		
太田	太田市立太田	普通科/商業系学科	7 //		
	太田ﾌﾚｯｸｽ	普通科(午前/午後/夜間部)	6 //	6学級	



中学校卒業見込者数にともなうシミュレーション

令和8年度 1学年定員

全日制課程
および
フレックススクール

13校・61学級

太田	普通科	6学級
太田女子	普通科	6 "
太田東	普通科(単位制)	6 "
新田暁	総合学科	4 "
太田工業	工業系学科	3 "
館林	普通科	4 "
館林女子	普通科	4 "
板倉	普通科	2 "
館林商工	商業/工業	4 "
西邑楽	普通/スポーツ/芸術	5 "
大泉	普通/農業	4 "
太田市立太田	普通/商業	7 "
太田フレックス	普通科(定時)	6 "

平均学級数
4.7学級/1校

学校数
を
維持

令和22年度 シミュレーション

* 地区内の中学校
卒業見込者数の推移
R 8 比 [56%] を基に算出

13校・34.1学級

太田	3.4学級
太田東	3.4 "
太田女子	3.4 "
新田暁	2.2 "
太田工業	1.7 "
館林	2.2 "
館林女子	2.2 "
板倉	1.1 "
館林商工	2.2 "
西邑楽	2.8 "
大泉	2.2 "
太田市立太田	3.9 "
太田フレックス	3.4 "

- ・ 1学年の
平均学級数
2.6学級/1校
- ・ 多くの学校が
3学級以下に

※[第2期高校改革推進計画] 2 県立高校の再編整備 (1)適正規模

イ 学習の専門性の確保に加え、多様な部活動の保障や学校行事等の活力維持から、1学年当たり4～8学級を基本とします。

生徒同士が学び合い、切磋琢磨できる機会の減少、多様な学び・充実した教育活動の実施が困難

1. 学校の活力への影響

【学校行事・部活動など】

- クラス対抗行事や体育大会の種目数の縮減など、活動の幅が限定される。
- 文化祭等の準備・運営が困難になり、学校行事等が縮小される。
- 部活動数が少なく、生徒は希望する活動ができない。
- 部員数が少なく、運動部のチーム編成や、音楽系部活動のパート編成等が難しい。



生徒の学びの機会の減少

2. 学習活動への影響

【学習活動】

- コース別や習熟度別などの編成がしにくく、多様な学習形態を取りにくい。
- 専門の教員をそろえ、全ての科目を開講することが難しい。
(高校では、総合的な探究の時間以外に10教科15科目が必修科目)
→生徒の科目選択が制限される

＜学校規模別の配置教諭数の例（理科）＞

教科	科目	学校規模(1学年当たりの学級数)			
		2 学級	4 学級	6 学級	8 学級
理科	科学と人間生活	2 人	4 人	5 ～ 6 人	6 人
	物理基礎				
	物理				
	化学基礎				
	化学				
	生物基礎				
	生物				
	地学基礎				
	地学				
	理科課題研究				



生徒の進路選択に影響
(進学に必要な受験科目が選択できない等)

栃木県

➤ 未来共創型専門高校（再編統合）

- ・ 複数の職業系専門学科を併置 → 学科横断的学習を推進する総合選択制

<特徴>

- * 異なる学科の生徒が連携・協働して探究的に学ぶ活動を推進
- * 他の専門学科の科目や発展的な普通科系科目の選択が可能

岡山県

➤ 県立岡山御津高校（総合学科）（学科改編等）

- * 高校進学を目指しているが、様々な理由で登校できていない中学生のための「教育支援センター“My Place”」を開設（R6）
- * 全日制高校への進学を目指している不登校傾向の中学生に対して、入学後、他校の通信制課程の科目を一部履修（全通併修）することができるフレックス制を導入（R7）

大分県

➤ 大分県立情報科学高校 （学科改編等）

- ・ 2023年度に新たな時代を担う人材育成を目指して学科改編
→ A I テクノロジー科、ビジネスソリューション科、デジタル創造科の3学科
＜特徴＞
＊ A I、I o T、半導体など高度先端分野を総合的に学ぶ（A I テクノロジー科）

兵庫県

➤ 兵庫県立北神戸総合高等学校 （再編統合）

- ・ 2025年、県立神戸北高校(普通科)と神戸甲北高校(総合学科)の発展的統合により開校
→ これからの時代に合わせた多彩な科目（系列）を設置した総合学科高校
＜系列＞宇宙・気象、D X、ひょうごからスタートアップ、スポーツ・アウトドアと防災、
ダイバーシティ&インクルージョン、リベラルアーツ の6系列

京都府

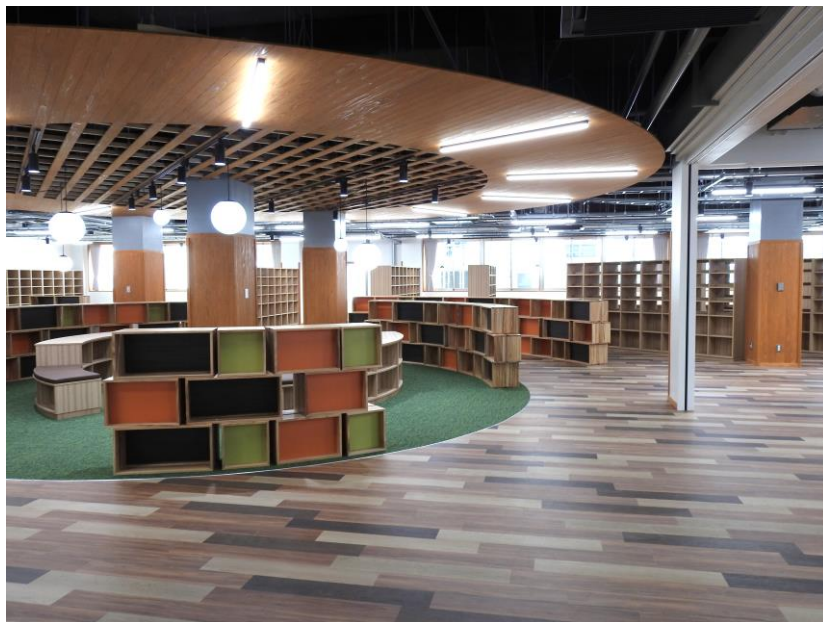
➤ 京都市立開建高等学校（学科改編等）

- ・ 2023年、京都市立塔南高校(普通科・教育みらい科設置)を再編して開校
→ルミノベーション科（その他普通教育を施す学科）を設置（1学科のみ）
- * 「自ら主体的に考え、探究し、多様な他所と協働することを楽しみ、未来を創造する人物」
の育成を目指し、対話・協働の学び、地域・社会での学び(探究活動)を展開。



➤ 沼田高等学校 （再編統合）

- ・ 沼田高校と沼田女子高校の統合により、
2025年4月に開校した普通科共学校
→進学重視型単位制、文理探究コースを設置
- * 幅広い選択科目・・・自分だけの時間割
- * メディアラーニングセンターをはじめとする最新の学習環境を整備



← メディアラーニングセンター

検討方法

- 座長は第三者（有識者等）で開催
- 開催の要望を頂くなど、**準備の整った地区から順次** 開催

検討内容

○地区の高校の未来像について

- ・生徒、地域の未来にとって、どのような高校が必要か
- ・各地区にふさわしい高校とは 等

ゼロベースで
地区関係者による
検討